

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013

第**84**期

# 中間報告書

2016.4.1～2016.9.30

THE WAY  
OF MUTUAL  
PROGRESS

# 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

## THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」

「間口よりも奥行きのある研究」

「進歩は常に需要とともに」

### 第2四半期財務ハイライト(平成28年9月中間期)

		連結決算
売上高	(百万円)	14,614
営業利益	(百万円)	1,241
経常利益	(百万円)	1,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	731
1株当たり四半期純利益	(円)	53.36
純資産	(百万円)	26,415
総資産	(百万円)	36,846
自己資本比率	(%)	67.3

(注) 本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第84期第2四半期（中間期）の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

大 須 栄 一

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得情勢が堅調に推移する中、個人消費は底を打ちつつあるものの依然停滞が続いております。世界経済についても先進国の成長率は緩やかに持ち直しておりますが、中国をはじめとした新興国の成長率が鈍化しており、一段と不透明感が増しております。

このような環境下、売上高は前年同期比6.1%減の14,614百万円となりました。また、営業利益は前年同期比30.1%増の1,241百万円となりました。経常利益は為替差損の影響で前年同期比1.9%減の1,425百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、厚生年金基金の解散に伴う特別損失294百万円の計上に加え、前年に日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円の計上があった影響で、前年同期比51.9%減の731百万円となりました。

当社の経営成績は主要顧客である日系自動車関連業界における生産量の動向や原油価格及び外国為替相場の変動に重要な影響を受ける傾向にあります。国内では顧客の海外への生産拠点移転の流れは止まることのないため、自動車生産による需要増加は多くを望めない環境にあります。また、昨今の原油相場や外国為替レートの急激な変動により販売価格や原材料価格動向も極めて不

明な情勢に陥っております。

このような状況下、当社は国内での顧客満足度の向上を図ると同時にグローバルでのシェア拡大、原材料調達最適化、技術導入や事業提携・M&Aを通じた新規分野への参入を基本戦略として業績向上に取り組んでおります。

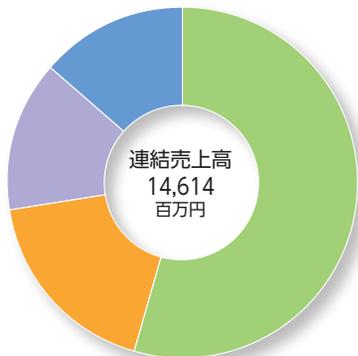
すなわち国内販売強化のため営業、技術一体となった組織的な顧客対応と製品開発のスピードアップ及び代理店網の整備を行って参ります。海外では現地のテクニカルセンターを拡充し、顧客のニーズに合わせた製品を開発することとあわせて、中国・東南アジア・北米で事業拠点を新設し、グローバルでのシェアアップを目指して参ります。また、海外12拠点のネットワークを活かした原材料調達最適化により収益改善に努めます。

このような戦略によりコア事業である金属加工油剤の収益力を高めながら、隣接分野拡充のため、技術導入・事業提携・M&A等にも経営資源を投入して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

# セグメント情報 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)



日本 54.7%

南北アメリカ 17.9%

中国 13.9%

東南アジア/インド 13.5%

## ●日本

自動車生産台数の減少及び原油価格下落に伴う価格改定の影響により、セグメント売上高は前年同期比6.5%減の7,992百万円となりました。セグメント利

益（営業利益）は、前年同期比0.1%増の373百万円となりました。

## ●南北アメリカ

若干持ち直しの兆しが見え始めたものの依然景気低迷により伸び悩むブラジル子会社及び各国での為替の影響により、セグメント売上高は前年同期比3.9%減の2,620百万円となりました。セグメント利益（営業

利益）は、原油安による原材料価格の下落及びメキシコ子会社での黒字化により前年同期比601.9%増の262百万円となりました。

## ●中国

日系自動車メーカー向けの売上高は前年を上回っているものの鉄鋼業界向けが減少したことにより、セグメント売上高は前年同期比13.6%減の2,033百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原油

安による原材料価格の下落がありましたが、減収の影響が響き前年同期比1.4%減の305百万円となりました。

## ●東南アジア/インド

各国とも成長率が鈍化する中、自動車生産台数も微増に留まっていますが、既存顧客でのシェアアップによりセグメント売上高は前年同期比1.7%増の1,967百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、

インド子会社では依然赤字が続いておりますが、他の拠点での原油安による原材料価格の下落の影響で、前年同期比23.2%増の282百万円となりました。

## 売上高

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	外部顧客に対する売上高	7,992	54.7	8,550	55.0	△6.5
	地域間の内部売上高	439	—	414	—	—
	計	8,432	—	8,964	—	—
南北アメリカ	外部顧客に対する売上高	2,620	17.9	2,728	17.5	△3.9
	地域間の内部売上高	0	—	3	—	—
	計	2,621	—	2,732	—	—
中国	外部顧客に対する売上高	2,033	13.9	2,352	15.1	△13.6
	地域間の内部売上高	17	—	—	—	—
	計	2,050	—	2,352	—	—
東南アジア/インド	外部顧客に対する売上高	1,967	13.5	1,935	12.4	1.7
	地域間の内部売上高	13	—	11	—	—
	計	1,981	—	1,947	—	—
消去(地域間の内部売上高の合計)		△471	—	△430	—	—
連結		14,614	100.0	15,565	100.0	△6.1

## セグメント利益(営業利益)

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本		373	30.1	372	39.1	0.1
南北アメリカ		262	21.2	37	3.9	601.9
中国		305	24.6	309	32.5	△1.4
東南アジア/インド		282	22.7	229	24.1	23.2
消去(地域間の内部利益の合計)		17	1.4	4	0.4	—
連結		1,241	100.0	953	100.0	30.1

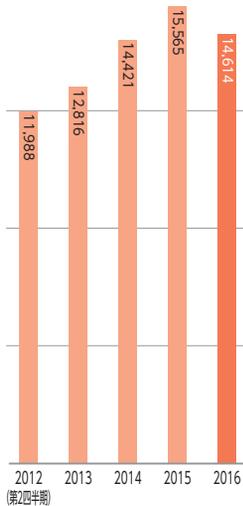
※各セグメントに属する国

日本 : 日本  
 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ  
 中国 : 中国  
 東南アジア/インド : マレーシア、タイ、インド、インドネシア

# 連結業績推移

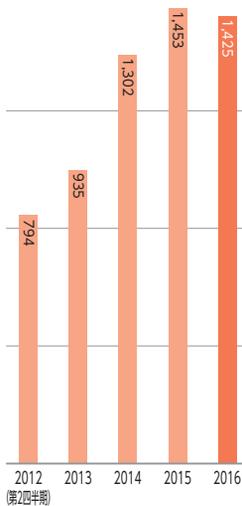
## 売上高

(単位：百万円)



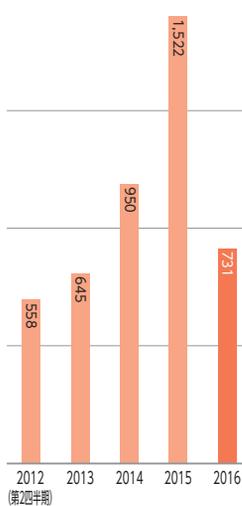
## 経常利益

(単位：百万円)



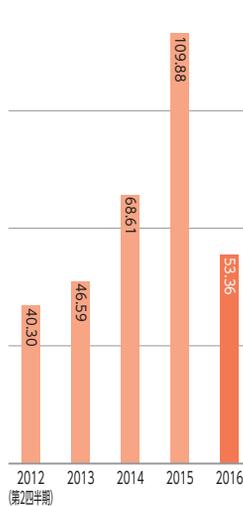
## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



## 1株当たり四半期純利益

(単位：円)



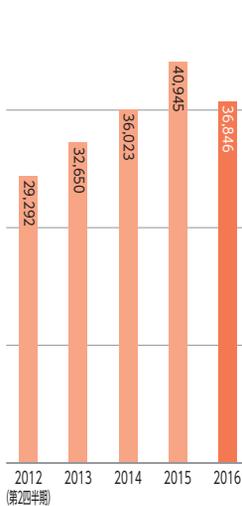
## 純資産

(単位：百万円)



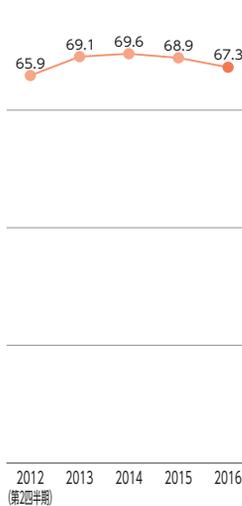
## 総資産

(単位：百万円)



## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり純資産

(単位：円)



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	15,692	16,565
固定資産	21,154	22,602
有形固定資産	11,121	11,671
無形固定資産	580	695
投資その他の資産	9,451	10,235
<b>資産合計</b>	<b>36,846</b>	<b>39,168</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	7,200	7,703
固定負債	3,231	2,927
<b>負債合計</b>	<b>10,431</b>	<b>10,631</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	27,658	27,824
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,052	4,052
利益剰余金	19,781	19,573
自己株式	△425	△50
その他の包括利益累計額	△2,848	△1,009
その他有価証券評価差額金	993	852
為替換算調整勘定	△3,770	△1,774
退職給付に係る調整累計額	△71	△87
非支配株主持分	1,605	1,721
<b>純資産合計</b>	<b>26,415</b>	<b>28,536</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>36,846</b>	<b>39,168</b>

### 資産の部

資産は、36,846百万円となり、前期末に比べ2,321百万円減少しました。主な要因は、「投資有価証券」が701百万円、「有形固定資産」が550百万円、「有価証券」が340百万円、「現金及び預金」が212百万円、「受取手形及び売掛金」が176百万円、「原材料及び貯蔵品」が129百万円減少したことによります。

### 負債の部

負債は、10,431百万円となり、前期末に比べ199百万円減少しました。主な要因は、「厚生年金基金解散損失引当金」が294百万円発生したものの、「未払金」が503百万円減少したことによります。

### 純資産の部

純資産は、26,415百万円となり、前期末に比べ2,121百万円減少しました。主な要因は、「利益剰余金」が208百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」が1,996百万円減少し、「自己株式」が375百万円増加したことによります。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	14,614	15,565 ●
売上原価	9,842	10,988
売上総利益	4,772	4,577
販売費及び一般管理費	3,531	3,623
営業利益	1,241	953 ●
営業外収益	417	593
受取利息及び受取配当金	87	110
持分法による投資利益	291	399
その他	38	83
営業外費用	233	93
支払利息	16	20
その他	216	73
経常利益	1,425	1,453 ●
特別利益	36	541
特別損失	327	—
税金等調整前四半期純利益	1,134	1,994
法人税等	232	314
四半期純利益	902	1,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	157
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	1,522 ●

### 売上高

売上高は、原油価格下落に伴う価格改定の影響及び為替の影響により前年同期比6.1%減の14,614百万円となりました。

### 営業利益

営業利益は、前年同期比30.1%増の1,241百万円となりました。

### 経常利益

経常利益は、為替差損の影響で前年同期比1.9%減の1,425百万円となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

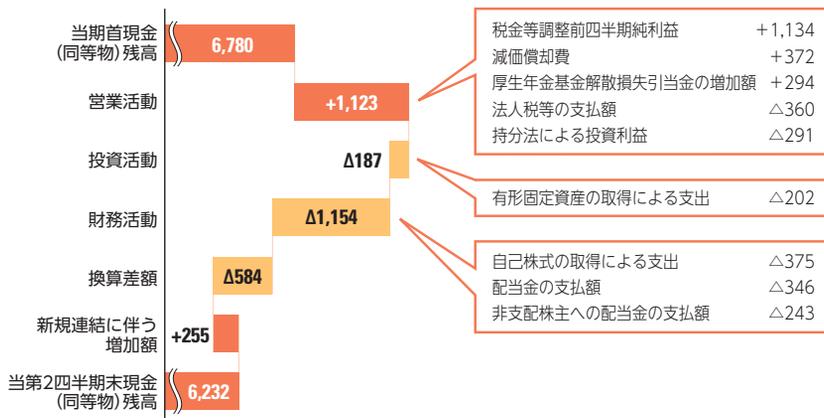
親会社株主に帰属する四半期純利益は、厚生年金基金の解散に伴う特別損失294百万円の計上に加え、前年に日本シー・ビーケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円の計上があった影響で、前年同期比51.9%減の731百万円となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123	1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187	492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,154	△337
現金及び現金同等物に係る換算差額	△584	141
現金及び現金同等物の増減額	△803	1,638
現金及び現金同等物の期首残高	6,780	5,152
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	255	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,232	6,790

## 四半期連結キャッシュ・フロー（主要因事項） (単位：百万円)



# 株式情報 (平成28年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 13,900,065株

株主数 5,075名  
(前期末比408名減)

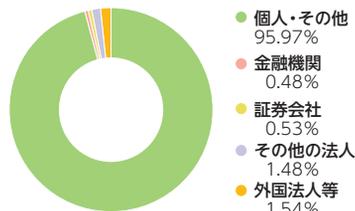
### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,057	7.78
ユシロ化学工業取引先持株会	805	5.92
株式会社三井住友銀行	622	4.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	610	4.49
スズキ株式会社	549	4.04
ユシロ化学工業従業員持株会	317	2.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
長瀬産業株式会社	243	1.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	206	1.52

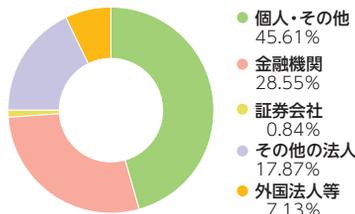
※当社は、自己株式321千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は、自己株式(321千株)を除いて算出しております。

## 株式の分布状況

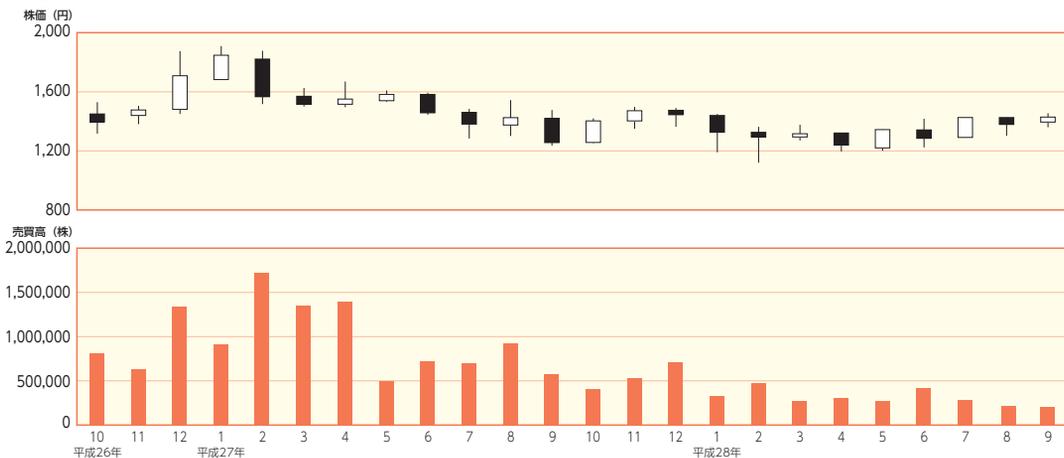
### 株主数比率



### 株式数比率



## 株価チャート



# 会社情報 (平成28年9月30日現在)

## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	<a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	307名(連結912名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、金属表面処理剤 アルミ離型剤、その他関連製品  ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

## ■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
日本シー・ビー・ケミカル株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ Inc. [米国]
ユシロドブラジルインダストリアケミカ Ltda. [ブラジル]
ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
広州尤希路油剂有限公司 [中国]
泰興西碧化学有限公司 [中国]
ユシロマレーシア Sdn.Bhd. [マレーシア]
ユシロ(タイランド) Co., Ltd. [タイ]
Siam Cee-Bee Chemical Co., Ltd. [タイ]
ユシロインディアカンパニー Pvt. Ltd. [インド]
PT. ユシロインドネシア [インドネシア]

## ■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]

## ■ 役員

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	岸 裕次
常務取締役	百束 立春
取締役	濱元 伸二
取締役	有坂 昌規
取締役	菊池 慎吾
取締役*	片山 久郎
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	野末 昭孝
取締役(監査等委員)*	山口 豊
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

(注) ※は社外取締役です。

## ■ 事業所

神奈川テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
名古屋テクニカルセンター	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若 100
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧海晃第一ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 方 法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

